

① 11月26日(土) 志ん朝 (古今亭)



1938年	東京	老松	百年目
3.10	出身		1994年
↓			3月29日
2001年			54分40秒
10.1			

② 百年目

落語。別名『番頭百年目』。ある大店(おおだな)の口やかましい番頭が、奉公人たちをしかってから店を出て、途中で身なりを変え、芸者や幫間(ほうかん)を連れて花見船を出した。酔って土手に上り、鬼ごっこをしていると、旦那(だんな)にばったり出会う。番頭は仰天して店へ帰り、病気のふりをして寝てしまう。翌朝、旦那に呼ばれて行くと、意外にも日ごろの勤務ぶりを褒められ、もう少し下の者をいたわってやれと優しく諭される。最後に旦那が「きのう会ったとき、お久しぶりといったのはどういうわけか」「あんなざまでお目にかかり、もうこれが百年目(おしまい)と思いました」。上方(かみがた)落語でも口演されるが、東京でも大作の一つである。

六代目三遊亭円生(えんしょう)が優れていた。
(関山和夫)(小学館 スーパー・ニッポニカ2001)

③ 落語の歴史 下 (小学館 スーパー・ニッポニカ2001)

円朝没後、正統派・本格派といわれる道を歩いてきた落語家たちは苦境にたたったが、それを救ったのが「落語研究会」だった(第1回資料参照)。

この落語研究会の歴史のなかで、大正時代には小さん、円右、円蔵が名人といわれて活躍したが、活動写真(映画)の登場で落語はむずかしい時期を迎えた。しかし、弥太ッ平(やたっぺ)といわれた蝶花楼馬楽(ちょうかりょうばらく)(1864—1914)、廓(くわく)の名人柳家小せん(1883—1919)、英語を落語に入れて評判になった柳家三語楼(1875—1938)など、異色の落語家が出て人気を保った。昭和初期にはラジオ放送の影響が強くなったが、柳家金語楼(きんごろう)(1901—72)の活躍は目覚ましく、兵隊物などの自作自演で名を売った。5代目三遊亭円生(1884—1940)は名人といわれ、8代目桂文治(1883—1955)は技巧派といわれた。4代目柳家小さん(1888—1947)は枯淡な芸風を示した。第二次世界大戦中は落語は娯楽性が強すぎるため不振であった。

第二次大戦後に民間放送が発足し、テレビが出現して、落語は昔の寄席という限られた領域から広い次元に進出して隆盛になった。しかし、5代目春風亭柳好(1888—1956)、八代目春風亭柳枝(1905—59)、3代目桂三木助(1902—61)、3代目三遊亭金馬(きんば)(1894—1964)、8代目三笑亭可楽(1898—1964)、2代目三遊亭円歌(えんか)(1891—1964)、8代目桂文楽(ぶんらく)(1892—1971)、5代目古今亭志ん生(1890—1973)、5代目古今亭今輔(いますけ)(1898—1976)、6代目春風亭柳橋(1899—1979)、6代目三遊亭円生(1900—79)、8代目林家正蔵(彦六。1895—1982)など名だたる落語家たちが相次いで没していった。6代目三遊亭円生は『円生全集』を残した昭和落語界の大物であったが、1978年(昭和53)に落語協会を離脱し、落語三遊協会を設立して話題になった。現在の

東京落語界は、柳家小三治を会長とする落語協会、桂歌丸を会長とする落語芸術協会の2派に、円楽一門会、立川流があって進展しつつある。

第二次大戦後の上方落語界は、6代目笑福亭松鶴(1918—86)、桂米朝(べいちょう)(1921—)、3代目桂春団治(1930—)、桂文枝(こぶんし)(1930—2005)らの尽力で隆盛を取り戻し、現在、桂三枝を会長とする上方落語協会がある。

④ 「落語研究会」音源リスト (mp3)

講義日	噺家名・演目	分:秒	備考
9/17	志の輔 みどりの窓口.mp3	29:42	収録: 渋谷・パルコ
	志の輔 ねずみ.mp3	40:26	
	志の輔 歓喜の歌 2007.mp3	53:13	
9/24	小三治 厩火事解説.mp3	2:06	NHK-TVの番組から
	小三治 厩火事.mp3	33:53	
	小三治 死神.mp3	41:56	
10/8	文楽 鰻の幫間.mp3	21:47	当日と全盛期の比較
	文楽 鰻の幫間1 71&63.mp3	0:35	
	文楽 鰻の幫間2 71&63.mp3	1:08	
	文楽 景清.mp3	24:32	
10/15	圓生 百川.mp3	32:13	
	圓生 鼠穴.mp3	43:12	
11/26	志ん朝 百年目.mp3	54:19	

落語研究会.ZIP 356,943,607 バイト

⑤ 東京の寄席 (小学館 落語のいき 第1巻)

東京の定席紹介

鈴本演芸場

全日昼夜入替
営業時間
昼席 12:20 ~ 16:30
夜席 17:20 ~ 20:40
〒110-0005
東京都台東区上野
2-7-12
☎03(3834)5906
番組案内:
03(3834)0311
ホームページ:
<http://www.rakugo.or.jp/>

浅草演芸ホール

昼夜入替無し
営業時間
昼席 11:40 ~ 16:30
夜席 16:40 ~ 21:00
〒111-0032
東京都台東区浅草
1-43-12
☎03(3841)6545・
03(3841)8126
ホームページ:
<http://www.asakusaengei.com/>

末廣亭

昼夜入替無し
営業時間
昼席 12:00 ~ 16:30
夜席 17:00 ~ 21:00
〒160-0022
東京都新宿区新宿
3-6-12
☎03(3351)2974・
03(3354)7932
ホームページ:
<http://www.suehirotei.com/>

池袋演芸場

昼夜入替無し
下席・特別公演は入替あり
営業時間
昼席 12:30 または 14:00 ~
夜席 17:00 または 18:00 ~
〒110-0005
東京都豊島区西池袋
1-23-1 エルクルーセB2
☎03(3971)4545
ホームページ:
<http://www.ike-en.com/>

⑥ メールアドレスと URL

Mail: genshikan@mbn.nifty.com

URL: <http://homepage3.nifty.com/fm-classic-live/>

言志館 FM 検索